DNV·GL

TCFD対応におけるポイント

2021年2月18日

DNVGL ビジネス･アシュアランス･ジャパン株式会社
宮本育昌

 DNVGL © 2021

セミナー申込者限定

講師紹介

宮本育昌 Yasuaki Miyamoto

職務経歴

- 国内電機メーカーにて、1991-2007年は半導体の研究開発・生産管理、2007-2020年はCSR・環境経営に従事。自社取引先へのCSR調達調査・監査の推進、国内外全グループ会社の環境管理の推進・統括、環境コミュニケーションの推進などに携わる。また、業界団体を代表して国際会議などに参加し、業界における生物多様性の取り組みを報告した。
- 2018-2020年は、ホールディング会社に兼務出向しESG推進に従事。CSR中長期計画、TCFD、生物多様性関連規程などの検討に携わる。
- 2020年より、DNV GLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社にて、気候変動、生物多様性、サプライチェーンマネジメントなどのサステナビリティ・サービスに従事している。

DNVGL © 2021
セミナー申込者限定

本日お話すること

1. TCFD対応の動向
2. 取り組むべきポイント
3. TCFDの今後

DNVGL © 2021
セミナー申込者限定

1. TCFD対応の動向

DNVGL © 2021
セミナー申込者限定

1. TCFD対応の動向

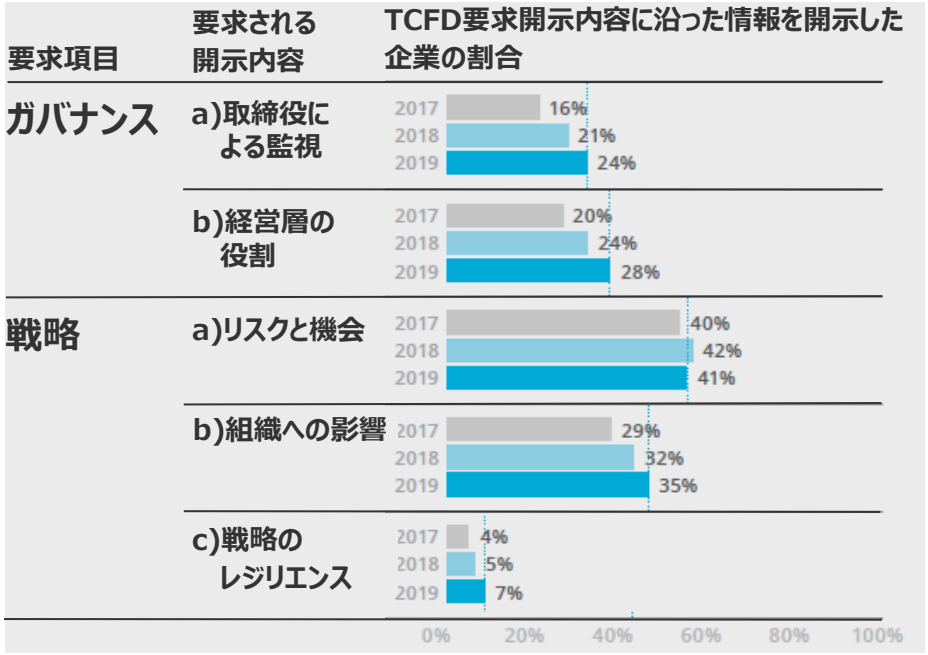
- 第3回TCFD現状報告レポート(2020年10月29日発表)
  - ✓ 1,500社以上の企業・機関がTCFD提言に賛同(前年比85%増)
  - ✓ 世界最大手の上場企業100社のうち、60%近くが賛同または報告書提出
  - ✓ 2019年には、時価総額が100億ドルを超える企業の42%が、各TCFD提言に沿って少なくとも一部の情報を開示
  - ✓ エネルギー企業および素材・建設企業が情報開示において他をリード

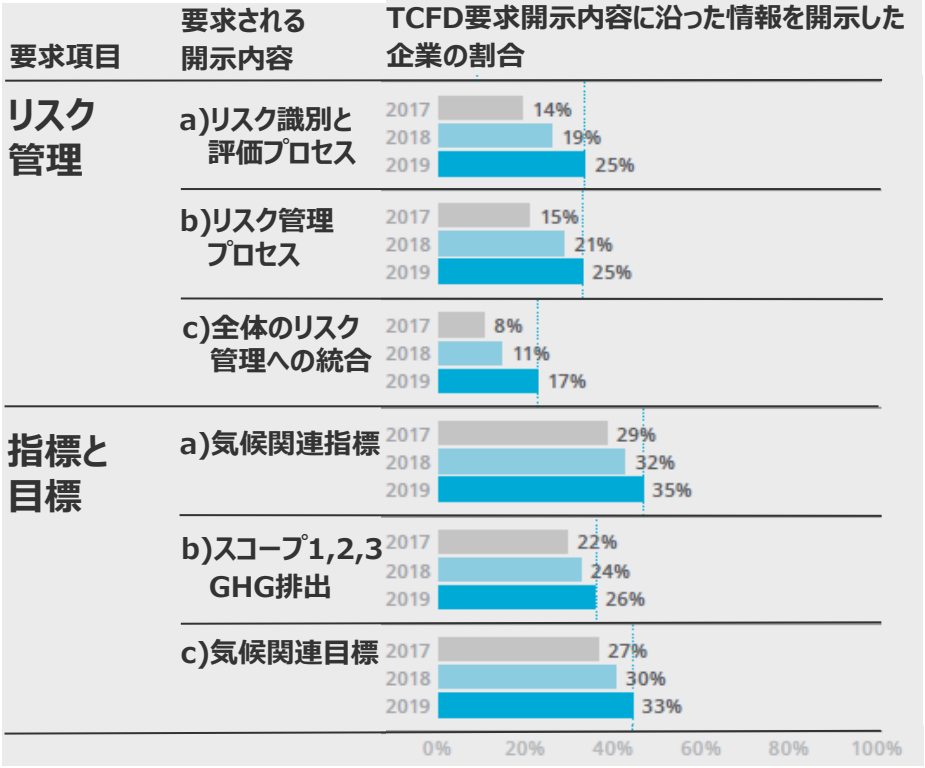
出典：https://assets.bbhub.io/professional/sites/12/10292020_Japan_PressRelease_202010TCFD_2020_Status_Report.pdf 抜粋

セミナー申込者限定

1. TCFD対応の動向

■ 第3回TCFD現状報告レポート　報告数の年度推移





⇒TCFD提言に沿った情報開示が主流化している

出典：Task Force on Climate-related Financial Disclosures 2020 Status Report, P11, Figure A2　から抜粋・和訳

セミナー申込者限定

1. TCFD対応の動向

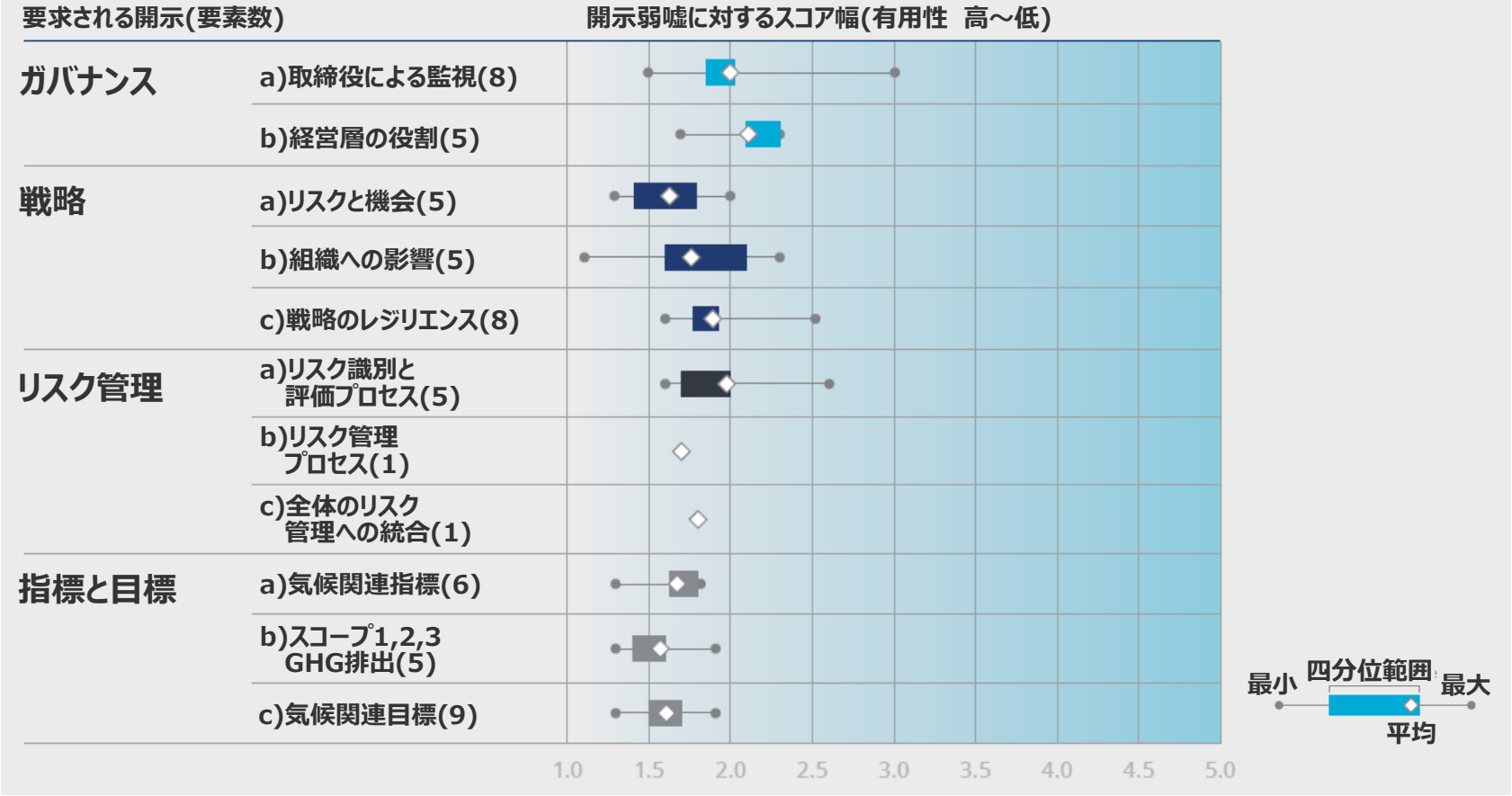
- 第3回TCFD現状報告レポート
  - ✓ 「レポーティングの一貫性」「比較可能性」を喫緊の課題として要望
  - ✓ TCFD提言に沿った開示水準が向上することへの継続的なニーズを指摘
  - ✓ 「企業の事業や戦略に与える気候変動が潜在的な財務的影響」の情報開示が特に少ないことを指摘
  - ✓ 資産運用会社やアセットオーナーからの顧客および受益者への報告が十分に行われていない可能性を示唆

出典：https://assets.bbhub.io/professional/sites/12/10292020_Japan_PressRelease_202010TCFD_2020_Status_Report.pdf 抜粋

DNVGL © 2021
セミナー申込者限定

1. TCFD対応の動向

■ 第3回TCFD現状報告レポート　報告の有用性



⇒有用性の評価は全体的には高いが、項目によって幅がある

出典：Task Force on Climate-related Financial Disclosures 2020 Status Report, P11, Figure B3　から抜粋・和訳

セミナー申込者限定

1. TCFD対応の動向

✓ マイケル・R・ブルームバーグ　TCFD議長

新型コロナウイルスによる打撃を受け、政府や企業が取り組んでいる対策は、より強くて復元力のあるサステナブルな経済を構築する好機でもあります。そして、透明性や情報開示といった要素は、重要な役割を担っています。より多くの企業が気候変動に関連した自社のリスクや機会を把握し、投資家がより多くの情報にアクセスすることができれば、より適切にリソースを配分し、進展を加速させていくことができるようになります。つまり、本レポートで説明しているように、TCFD提言に沿った開示を実施している公共セクターや民間セクターの先進的な企業を見て、学ぶべきなのです。

下線追加

出典：https://assets.bbhub.io/professional/sites/12/10292020_Japan_PressRelease_202010TCFD_2020_Status_Report.pdf　抜粋

セミナー申込者限定

1. TCFD対応の動向

✓ メアリー・シャピロ　TCFD特別アドバイザー

投資家たちは、投資対象企業からの気候関連の情報開示をますます要求するようになっており、こうした要求が金融セクター・非金融セクターの双方において、TCFD提言を推し進めるグローバルな勢いを生み出しています。私たちは、このような情報開示において、質と一貫性を向上させるための基盤を提供しています。また、セクターや管轄区域にとらわれることなく標準化されたアプローチを促進するためにも役立つものです。企業や投資家には、TCFDが提供しているツールを活用して情報開示を加速させることを期待しています。

下線追加

出典：https://assets.bbhub.io/professional/sites/12/10292020_Japan_PressRelease_202010TCFD_2020_Status_Report.pdf　抜粋

セミナー申込者限定

2.取り組むべきポイント

DNVGL © 2021
セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

A) TCFDに取り組む目的を明確にする

B) 他社との差別化を意識する

C) 外部リソースを活用する

セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

A) TCFDに取り組む目的を明確にする

- ✓ 気候変動関連の研究開発に投資を呼び込みたい

  →シナリオ分析で機会を見出し、中長期計画にマテリアリティとして盛り込む

- ✓ ESG評価を高くしたい

  →ESG評価に活用されているTCFD項目から優先して取り組む
  (最終的には全項目抜け漏れなく取り組み、開示する)

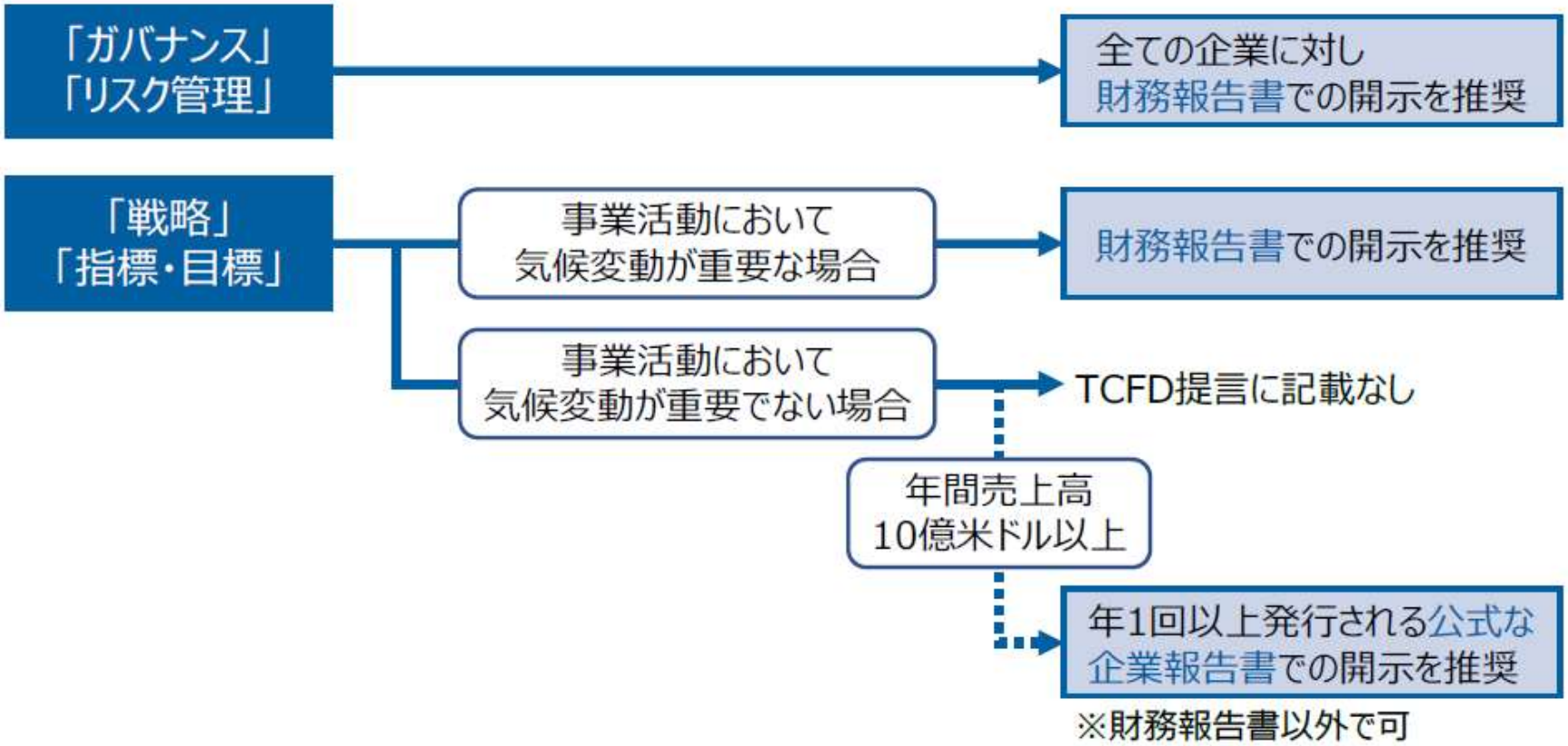
- ✓ 社内の気候変動対策を加速したい

  →シナリオ分析でリスクを見出し、リスク管理プロセスに組み込む

DNVGL © 2021
セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

B) 他社との差別化を意識する



出典：気候関連財務情報開示に関するガイダンス2.0、TCFDコンソーシアム、P20、図6

セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

✓ 差別化できる取り組みを検討する。

企業規模と開示内容:2019年報告書

要求項目	要求される開示内容	時価総額 <28億ドル (613社)	時価総額 28-100億ドル (539社)	時価総額 >100億ドル (549社)
ガバナンス	a)取締役による監視	11%	23%	39%
	b)経営層の役割	15%	26%	43%
戦略	a)リスクと機会	31%	40%	53%
	b)組織への影響	20%	30%	55%
	c)戦略のレジリエンス	2%	6%	12%
リスク管理	a)リスク識別と評価プロセス	12%	24%	41%
	b)リスク管理プロセス	13%	22%	40%
	c)全体のリスク管理への統合	7%	16%	28%
指標と目標	a)気候関連指標	20%	30%	56%
	b)スコープ1,2,3GHG排出	16%	25%	40%
	c)気候関連目標	19%	28%	52%

The numbers in parentheses represent the size of the review population.

Legend: Low to high percentage of disclosure

出典：Task Force on Climate-related Financial Disclosures 2020 Status Report, P13, Figure A3 を和訳

セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

C) 外部リソースを活用する

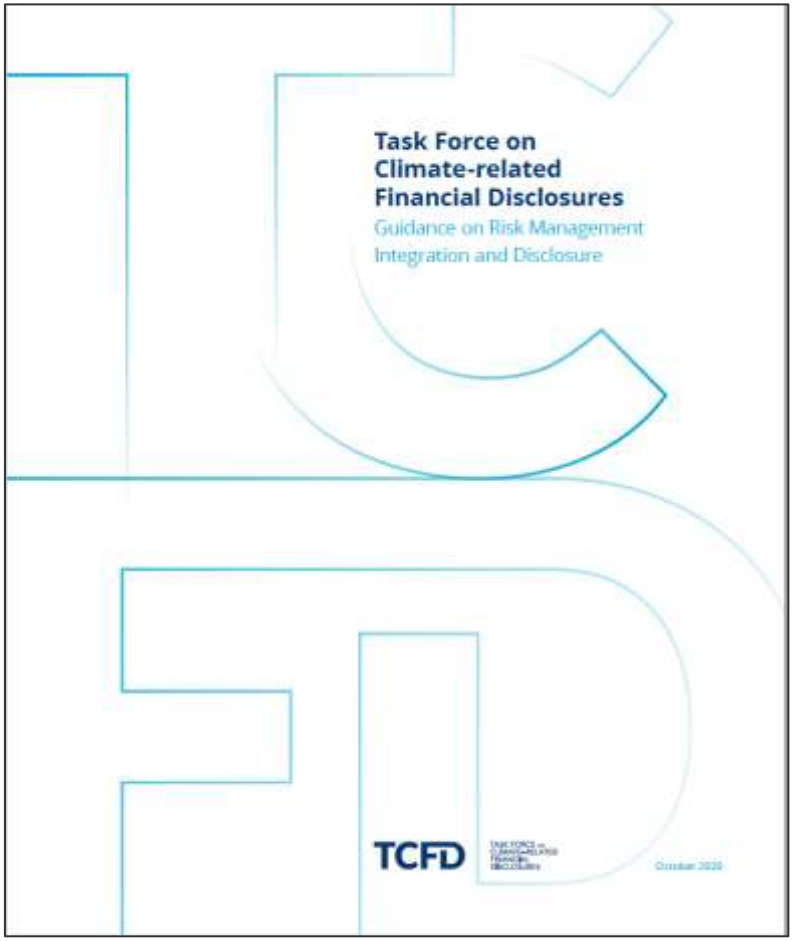
参照：　http://www.env.go.jp/policy/tcfd.html

https://tcfd-consortium.jp/news_detail/20073103

セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

C) 外部リソースを活用する



参照：https://www.fsb-tcfd.org/publications/

セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

C) 外部リソースを活用する：非金融企業のシナリオ分析ガイダンス

A. はじめに

B. 組織化

1. 情報提供、教育、エンゲージ
2. シナリオの事例構築
3. 明確なガバナンスと経営層のリーダーシップ
4. 強力なシナリオ専用チームの設立
5. 内部および外部のリソース要件

C. シナリオプロセス

1. シナリオのABC
2. シナリオ開発プロセス

D. シナリオを用いた戦略的経営

1. 戦略的経営と戦略のレジリエンス
2. 戦略策定へのシナリオの適用
3. 戦略のレジリエンスの管理

E. 開示: 戦略レジリエンスの実証

1. 投資家や他のステークホルダーが求めている情報は何か?
2. 戦略・シナリオに関して開示すべき情報は何か?
3. その他の開示に関する考慮事項

結論

B.組織化

ここでは、シナリオ分析や潜在的な組織の落とし穴の管理に向けた、組織構造とプロセスを確立するための要素について説明します。

主要なメッセージ

- シナリオや気候関連のリスクや機会について意思決定者や社内の利害関係者に知らせ、教育することが、必要な第一歩です。
- シナリオ分析に関するエグゼクティブ・レベルのスポンサーシップ、健全なガバナンスの取り決め、明確な報告関係のすべてが重要です。
- ファシリテーターと管理者がシナリオチームで重要な役割を果たします。
- 十分な内部および外部リソースが必要です。特に外部の専門知識は、シナリオが繰り返し可能で通常のビジネスプロセスとなるように、組織に適切な知識を移転し埋め込むのに役立ちます。

出典：Task Force on Climate-related Financial Disclosures Guidance on Scenario Analysis for Non-Financial Companiesから抜粋・和訳

セミナー申込者限定

2. 取り組むべきポイント

C) 外部リソースを活用する

TCFDが推奨する開示とCDSBフレームワークの要件およびSASBスタンダードとの整合性。

- • CDSBの要件はTCFD提言と整合している
- ◊ SASBの指標とガイダンスはTCFD提言と整合している
- # SASBの指標は主要な業界のTCFDガイダンスと整合している

気候関連財務情報開示タスクフォースの提言

	ガバナンス		戦略			リスク管理			指標と目標		
CDSBフレームワークの要件	G a)	G b)	S a)	S b)	S c)	RM a)	RM b)	RM c)	MT a)	MT b)	MT c)
REQ-01:ガバナンス	•	•						•	•		
REQ-02:方針、戦略、および目標		•	•	•			•		•	•	•
REQ-03:リスクおよび機会			•	•	•	•	•	•			
REQ-04:影響の要因									•	•	•
REQ-05:実績と比較									•	•	•
REQ-06:見通し			•	•	•		•	•			
REQ-07:組織の境界											
REQ-08:報告方針											
REQ-09:報告期間											
REQ-10:修正再表示											
REQ-11:適合性											
REQ-12:保証											
SASBスタンダード	G a)	G b)	S a)	S b)	S c)	RM a)	RM b)	RM c)	MT a)	MT b)	MT c)
基準適用ガイダンス	◊	◊	◊	◊	◊	◊	◊	◊	◊	◊	◊
業界固有の基準	#	#			#		#	#	◊	#	◊

参照：https://www.cdsb.net/sites/default/files/sasb_cdsb-tcfd-implementation-guide_japanese.pdf 抜粋(P14、図6)

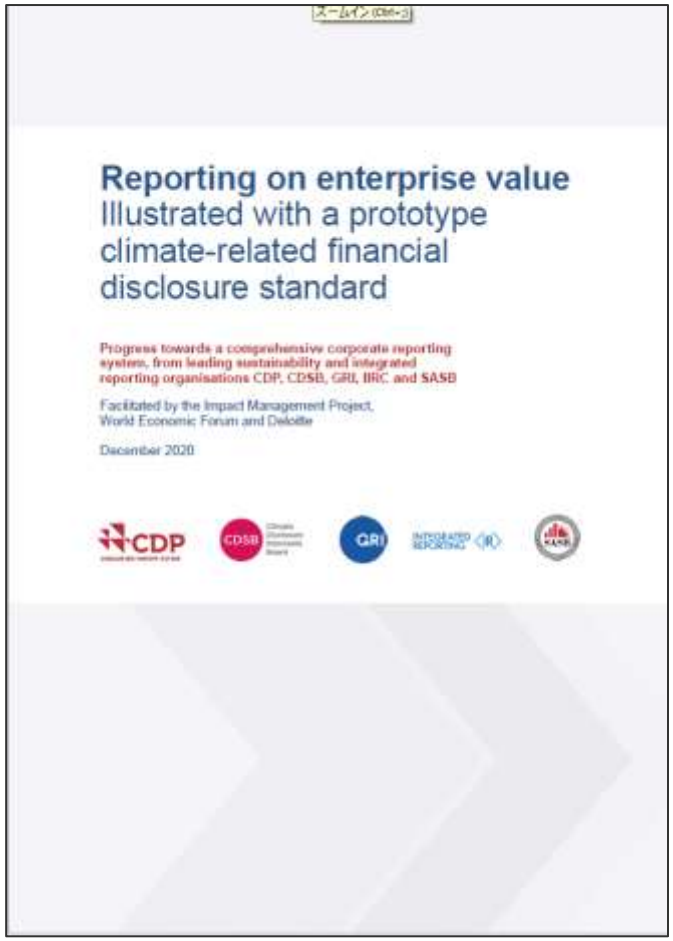
セミナー申込者限定

3. TCFDの今後

DNVGL © 2021
セミナー申込者限定

3. TCFDの今後

✓ 気候変動に関する情報開示統合の動き



Prototype Climate-related Financial Disclosure Standard

Foundation		
Objective		
Scope		
Climate-related Financial Disclosures		
Governance		• Disclosure objective • Content
Strategy	Strategy	
	Business model	
	Outlook	
Risk management		
Metrics and targets	Operational	• Disclosure objective • Content (including cross-industry and industry-specific climate-related financial disclosures)
	Risk	
Prototype Annex A: Application guidance		
Cross-industry and industry-specific application guidance (metrics and targets)		
Prototype Annex B: Definitions		

参照：https://29kjwb3armds2g3gi4lq2sx1-wpengine.netdna-ssl.com/wp-content/uploads/Reporting-on-enterprise-value_climate-prototype_Dec20.pdf 抜粋(P19、Table2)

セミナー申込者限定

ご清聴ありがとうございました

DNV GLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

サステナビリティサービス

シニアコンサルタント

宮本育昌

yasuaki.miyamoto@dnv.co.jp

www.dnvgl.com

SAFER, SMARTER, GREENER

The trademarks DNV GL®, DNV®, the Horizon Graphic and Det Norske Veritas®
are the properties of companies in the Det Norske Veritas group. All rights reserved.

セミナー申込者限定